

回復期リハビリテーション病棟



障がいが残っても、
人生は続いていく。
だから、今、頑張る！

対象疾患と入院期間

対象疾患	発症後	入院期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後手術後又は義肢装着訓練を要する状態	2か月以内	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷		180日
多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折		90日
外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後		90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	1か月以内	60日
股関節又は膝関節の置換術後の状態		90日

詳細につきましては、スタッフにお問い合わせください。

365日体制



回復期リハ病棟は、365 日休日なくリハビリテーションを提供します。その理由は、回復期にどれだけリハビリテーションを行うかによって、その後の快復が大きく変わってくるからです。

ゆえに、ここでは、個別訓練以外にも、衣服の着脱、食事などの日常生活での動きにおいても、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が主体となったチームのメンバーが関わっていきます。
障がいを負ってしまった方にとっては、苦しい場面も多いと思われますが、ここで頑張った結果は、必ずこれからの皆さま方の暮らしを明るく変えて行きますので、私たちと共に、頑張りましょう！！

お金のこと、退院後のこと



入院も長期になりますので、入院費用や治療費などについて気にかかる方も多いのではないのでしょうか。あるいは、退院後の生活について、通院はどうすればいいのか、といったご不安もあるのではないのでしょうか。そのような心配ごとについては、お気軽にご相談ください。当院は、患者様やご家族の不安や相談に応じるソーシャルワーカーという専門家がおります。

‘よくあるご相談’

- ・入院や治療にかかる費用について
- ・退院後の病院との関わりかたについて
- ・自宅での暮らし方について

回復期リハビリテーション病棟の

ある一日をご紹介します。



AM 7:00 更衣
パジャマから普段着へ！
難しいところはリハスタッフがお手伝いします。



AM 7:30 整容
髪を整える、歯磨きをする、
そんな日常の動きもリハビリです。



AM 8:00 朝食
食堂に移動していただき、「食べる」というリハビリを！



AM 9:00 リハビリ
いわゆる訓練室の「リハビリ」です。



AM 10:30 入浴
お風呂での動きも大切なリハビリです。



PM 12:00 昼食
PM 13:00 リハビリ
お天気が良い時は屋上庭園でリハビリをすることも。



PM 18:00 夕食
PM 19:00 更衣&状態チェック
体調に異常がないかを確認。

PM 22:00 就寝